

## 鶴岡市総合計画審議会 第4回市民文教専門委員会（会議概要）

- 日 時 平成30年10月26日(金) 午前9時30分から
- 会 場 鶴岡市勤労者会館 大ホール
- 委員発言の概要

### 大綱（案）・基本計画（案）について

#### 成果指標について

- ・事前に郵送していただいた資料にひと通り目を通したが、施策の成果指標について、違和感を覚えた。施策を進める上では目標や成果があるというのは分かるが、目に見えるものとそうでないものが確かにあると思う。各施策の全てに対して効果指標を設定しなければならないというのはあるだろうが、そのものさしについては検討の余地があるように思った。
- ・施策の成果指標については、もう少し検討されてはと思う。
- ・設定については、説明や意図が感じられるように工夫していただきたい。
- ・成果指標の役割にどういう根拠を持たせて分かりやすくするかという事が重要だと思う。施策を実施して、そのフォローがあつたうえで、成果指標が立てられていけば十分に理解できる。
- ・資料を拝見し、素晴らしい鶴岡市が出来るのだろうと率直に思った。全部実現すればの話だが。実現するためには時間も労力もかかると思う。基本計画の取組の中で、PDCAサイクルを活用し見直しをするという項目があつたが、5年と言わずに、進捗状況の確認も含め、チェック回数を増やし、出来るだけ理想に近づけていただきたい。
- ・たくさん資料を読み、改めて鶴岡には伝統も人も産業もたくさん宝物があり、すごいまちだと思つたし、それをまとめていかれる方々は大変だなと思つたところ。先ほどから話があるように、成果指標というものは一つ一つは分かるが、項目を代表するものとしての成果を見るというのであれば、この項目だけでいいのかなという違和感、納得しにくい部分もあると感じた。
- ・成果指標について、先ほどの説明で、この計画をPDCAサイクルにのせて定期的に見直しを図っていくための指標との説明があつた。目標ではないとの説明もあり理解はできるが、もしPDCAのサイクルにのせて検討していくのであれば指標は必要なのではないかと思う。こういう点、こういう項目で評価していきますというのは当然必要と思うが、目標でないのなら、数値まで必要なのかどうかを検討されてはどうか。現状値、参考値を踏まえた上で、それがどのように改善されていくのかを見ていくことでこの施策の展開がうまくいっているのかを見ていくということではだめなのか。どうしても数値があると、その数値は目標ではないのか、目標が達成されることにどれだけの意味があつて、達成されなかったときにどのような意味があるのかということが非常に難しいと思う。目標値でないならば数値の記載については検討いただけないかと思う。

## 大項目 1

・施策の大綱に説明文がいろいろと書いてあるが、文章が羅列されている関係上、少々読みにくい。例えば体系図の括弧を除いた大きい番号を付けて分けると短い文章になるため、読みやすいし理解しやすくなるのではないかと思った。お年寄りから子どもまでを対象に読ませることを想定すると、非常に見にくいように感じた。

### 大項目 1 中項目 2 地域の防災・防犯力の強化

・施策の成果指標の質問になるが、「刑法犯罪認知件数」を現状値 449 件、成果指標としては 355 件にするとかかなり具体的な数値で出ているが、この成果を定める根拠をいれないと、目標とどう違うのかわからない。

・地域の防災・防犯力の強化について、ア 防犯体制の強化 の文言に「災害時に迅速な応急対応が図られるよう」とある。それはそれでいいのだが、津波災害では発生する前の想定する段階で、しっかりとした情報が、昼夜を問わず、素早く短時間で沿岸の住民全員に明確に伝わる必要がある。台風や豪雨のように発生まである程度の時間的な余裕が取れて、事前情報として伝達できる災害等とは分けて捉え、対策も別々に検討していくべきではないかと思う。また、情報伝達の手段に関しては、主な施策の中に沿岸部に設置されている防災無線からの伝達が明確に聞き取れるように整備していくという内容を盛り込んでいただきたい。

### 大項目 1 中項目 3 消防・救急体制の充実・強化

・出火件数が現状値 3.4、成果指標 2.4 とあり、さまざまな施策が記載されているが、これによって出火件数が減少する根拠が理解できなかった。消防のことでいえば、自宅に火災報知器の設置を行ったが、3 年ほど経過して電池が切れ、交換が必要ではないかと思っている。設置の際は宣伝していたのに維持を市民に周知することについてはなかなか手が回っていないように思える。市民に具体的な周知をすることに力を入れなければこういった成果は出てこないのではないか。成果指標とするには根拠が必要であり、目標とどのような違いがあるのかについて見解を教えてください。

### 大項目 1 中項目 5 移住・定住の促進

・移住・定住の促進について、移住者相互のネットワークの記載があるが、私自身 8 年前に鶴岡市に移住し定住している。いまだに困っているのが、なかなか庄内弁が分かりづらいということ。たまたま地元に着る仕事に就き慣れてはきたが、日常会話でも 8,9 割かなと思う。移住者で固まってもいつまで経っても慣れることができないと思うので、地域の自治会やコミュニティに入る支援等に時間がかかっても自治会側にも受け入れられるような支援を市でしていただけると住みよくなるのかと思う。知っている人がいれば住み心地も良くなるし、住み心地が良くなればその土地も好きになると思うし、そういう両親から生まれた子供はその土地がさらに好きになって離れないのではないかと思う。ただ移住者のみの交流に拘るのではなく、移住者が地元と交流できるような仕組みづくりにも力を入れてほしい。

#### 大項目1 中項目6 環境の美化・保全活動の推進

・「環境の美化・保全活動の推進」というところに地球温暖化の防止とあるが、今後の人類にとって今以上に大きな課題になるものと思っている。我々市民が出来る事は限られており、数字には表れない微々たるものにしかならないわけではあるが、二酸化炭素削減にもつながって、森に親しみながら学ぶことも出来る森の造成事業というのは非常に有意義なものであると考える。施策の中に魚の森造成事業等を市の事業として盛り込み、多くの方に実施してもらおうということは極めて重要であり、それらが日本全国に広がっていけばいいと思っている。

#### 大項目1 中項目7 資源循環型社会の形成

・循環型社会の形成について、エの項目で「災害廃棄物処理体制の構築」について記載がある。今年もゲリラ豪雨等の発生状況を見るに、地球温暖化の気候変動に伴い様々な災害が予想される。これは今までに考えていたような此处では起きないという発想はもう通じない。逆に言えば、いつどこで、どういう都市でも起こり得るといふ、災害に対する防災意識は非常に大切な今後10年の施策になると考える。そういった部分はどこで触れているのか。災害廃棄物処理体制の構築についてはここに記載があるが、水の確保や停電に対する対策などについては素朴な市民の感情もあると考える。そういったことを考えると、未来を明るくしていこうという施策だけでいいとは思えない。防災・減災に対する取り組みは各部署を超えてあるわけなので、例えば冊子の中の別のページにも関連情報が書いてあるといったような、市民が安心できるような情報が提供できる総合計画にしなくては大変なことになるのではないかと私は危惧をしている。今の段階で災害に対する防災・減災・対策がどういう方向性を持っているのかについてお聞きしたい。

#### 大項目1 中項目9 市民に寄り添った窓口サービスの推進

・マイナンバーカードの交付率を現状値の8.2%から20.0%にするということよりも、サービスの推進がどういう形でなされるかといった目に見えるものが必要と考える。こういった成果指標に関しては検討の余地があるのではないかと拝見した。

・成果指標の取り方について、マイナンバーカードの交付率は、諸証明と連動でき、写真付きの証明書としても使うことができ、免許証返納にも対応できるといったようなことなども含めて設定してあるのだと思う。

#### 大項目3

・教育面だと学校のみならず家庭でも地域でも社会全般の中で問題点もあるが、鶴岡の場合は教育を前面に押し出し、教育の内容を給食も含めて推し進めるという伝統的な施策があったので教育の理想については触れられているが、一方で、反動的な教育あるいは子どもたちの問題点についてどの程度反映させるべきか、個人的には書きすぎてもよくないかなとも思ったが、若干見方について、もう一歩でも二歩でも足を進めてもいいのではないかと考えている。

・学校関係は市民からもたくさん要望があると思うが、学校へのスクールバスの設置、エアコンの

設置、通学路の除雪が行き届いていない地域がまだまだあるので、声を大にして要望したい。計画にも記載はあるがさらに積極的に、10年と言わず1年2年3年と単年度で実績を上げていただきたい。

#### 大項目3 中項目1 次代を担う人づくりの推進

・「イ 豊かな教育資源の活用」について、特別支援教育の今後の拡充については、今後学校教育においては特別支援教育の体制整備が重要、記載ありがたい。チーム学校の推進については、人的な確保、当然予算等も関わってくるということで位置づけに行政がかなり本腰を入れていかなければならないと考えているが、この点についても踏み込んで記述いただきありがたい。ぜひ、外部の人材の活用部分で行政としての施策の推進を期待申し上げる。

#### 大項目3 中項目2 地域における人づくりの推進

・男女共同参画について、男女共同参画は市民文教専門委員会でいいのかと思うが、「市内事業所にイクボスを普及させ」という文言は、男性も女性も育児に同じように参加するというすごく大変なことで、それこそ男性も育児休暇を取りましょうとか、言葉自体は流行っているかもしれないが、これを10年間残る本に載せてしまうことは相当実現が難しいのではないかと。

・なかなか実現は難しいということもあると思うが、図書館本館の再整備を検討しますという文言を入れていただいたこと、この一文には非常に大きな意味があるのではないと思う。本市における図書教育は非常に歴史があり、大きな意義があると思っている。その中で、図書館本館の果たす役割、そして再整備に向けての機運をぜひ高めていただきたい。

#### 大項目3 中項目4 文化資源の保存・継承・活用

・施策の成果指標に「文化財施設入館者数」をあげているが、文化資源の保存継承活用について、文化財施設というのがどの範疇まで含まれるのかに疑問を持った。展示施設も文化財であると考えれば「大宝館」「致道館」「松ヶ岡開墾記念館」「東田川文化記念館」「いでは文化記念館」などがあり、そのほかにも庭園などの名所があるわけだが、これらを文化財施設という範疇としてどこまで含めるのか。

・デジタルアーカイブ化についての文言を入れていただきありがたい。非常に大きなステップになると思う。私自身以前デジタルアーカイブの制作に携わり様々な案件を見てきた中で、デジタル化によって見えないものが見えるようになったり、触れないものが触れるようになったりとか、現存していないものが見えるようになったり、朽ち果ててしまうものを温存することができるように、非常に夢があってわくわくする技術となっている。東京のジブリ美術館だと、職員が技術をマスターし、自分たちで複製し複製作品を展示して子どもたちもどんどん触ってくださいというような展示方法をしていたりするので、大変夢のある技術と思う。さらに積極的な文言を入れていただきたい。成果指標については、文化関係のものはあまり成果とは密接ではないのかと思う。デジタルアーカイブは数値に拘らず、あまり成果主義にならないようお願いしたい。

### 大項目3 中項目6 学校給食の充実

・学校給食について、前回要望を申し上げたが、食物アレルギーの対応ということで関係機関との連携を図りながら子供たちの健全育成に寄与する給食を目指していきたいという文言には非常に大きな意味があると思う。学校教育において食育は非常に大事になってきているし、その中で食物アレルギーの対応ということも非常に大きなポイントになってきている。それぞれが食物アレルギーへの対応を考えていかなければ子供たちの安心・安全な食生活は守っていけない状況。そんな中で、給食センターが果たす役割というものを検討いただければありがたい。主な施策の中に具体策が記述しにくい部分はあったと思うが、さらにその点についても踏み込んでいただければありがたい。

### 大項目3 中項目7 都市交流の推進

・施策の成果指標については、進捗状況の確認が難しいと思う。例えばこの中で、交流都市7つのうち、5つについて鶴岡市を紹介していただいているということだが、お互いに掲載してPRし合えば問題ないことと思うし、主な施策「新たな支援者の掘り起こし」について、その前提となるのが「ふるさと会」の発展ということであった。なぜふるさと会が発展した方がいいのか、今話題になっているのはふるさと納税をできるだけ鶴岡にお願いしたいという気持ちもPRしているのだと思うが、PRの中で掘り起こしに力を入れた方がいいのではないかと思う。先日鶴岡市ではだだちや豆、サラ飯の番組がNHKで放映されたし、酒田ではジオパーク絡みで同じくNHKで放映されていた。できれば、鶴岡市の力を最大限利用してメディアに働きかけて鶴岡市をPRできるよう頑張っていただければありがたい。

### 大項目3 中項目8 国際化の推進

・国際化の推進、国際都市交流の推進について、前回ご意見申し上げたが、子どもたちや友好都市との交流の推進、それから、子どもたちが国際感覚を身に付ける、世界で活躍できるような人づくりを支援していくという文言を入れていただき、友好都市の交流にさらに後押しいただけると期待している。

### その他

・ここまでこの計画をつくるにあたって、ものすごく時間をかけてつくられてきたということを強く感じた。項目立てされた部分についても、今日的な課題を取り入れながら、柱建てされていると読ませてもらった。施策の方向、主な施策というような順番で述べられていくが、市民として一番興味があるのは、主な施策の次の、具体的な取組の部分なのかなと感じている。前回欠席したが、その中にいろいろな具体的な取組に関わる声が沢山あったように読ませてもらった。この計画に基づいて主な施策に対する具体的な取組、当然歳入的な問題もあるだろうし、より関係機関との意見交換ということも大切になっていくのかなということも思っている。ぜひ具体的な取組の部分について良い方向に施策が展開されるよう希望する。日々課題が変わっていくということもあると思うので、やはり関係機関の声を聴く、拾う、そのような場を今後も大切にいただければより良いものになっていくのかなと感じた。

・これまでの委員会で出された意見を最大限に集約し計画案をまとめていただいたことに感謝申し上げます。前回色々な点を申し上げたが、それを数多く盛り込んでいただいたことを実感した。これまで作業に当たられた方々大変なご苦勞があったのではないかと思います。大変ありがたいと思った。

・学校関係は市民からもたくさん要望があると思うが、学校へのスクールバスの設置、エアコンの設置、通学路の除雪が行き届いていない地域がまだまだあるので、声を大にして要望したい。計画にも記載はあるがさらに積極的に、10年と言わず1年2年3年と単年度で実績を上げていただきたい。

・地域活動の担い手が不足しているとか、リーダーの育成が必要だとか、移住者の促進が必要だとか色々問題はあると思うが、地域全体にあきらめムードとか、何かお願いされたときにやらされている感じとか、無関心な人がとても多いと感じる。その反面、生涯学習推進員として、生涯学習に積極的な高齢者も目の当たりにしている。あきらめムードの高齢者を生涯学習に積極的な方に変身させることができれば、積極的な高齢者が地域活動の担い手になって地域をけん引していってくれば、色々な問題が解決とまでいかななくても、いい方向に向かっていくのかなと思う。子どもや住んでいる人が誇りに思えるようになるというのが総合計画の一番大切なことと思うので、どこの項目の何がということはないが、私自身も模索していくし、市職員としても考えていっていただきたい。

・我々がやっているのは極論の部分なので、なかなか表現しづらいのかもしれないが、全て〇〇を推進します、目指しますとういうことで記載されている。一般の方は鶴岡市がやってくれると思うので、それは間違っていないとは思いますが、市がいくら施策を実行しようとしても市民がそれを受け止めて動く、行動することが必要だと思う。市民にそのようなことを働きかける文言があってもいいと思う。例えば防災にしても、防災体制の整備について、高齢者を救助できるような体制を整えるがそれは役所でやってくれると捉えられがちだと思う。

・一冊で読むと大変読みやすい。完成版はバラバラになるので、冊子を仕上げる工夫が必要なのではないか。特に今回は移住・定住、窓口サービスとか、教育関係は3項目を1つにまとめたり、学校給食は別個にしたり、さらに身近なものになるのではないかと思います。